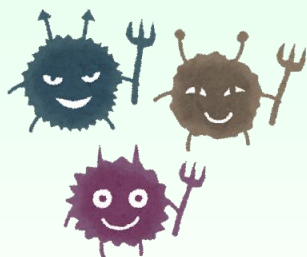


保健センターだより 秋号

～薬剤耐性 (AMR※) 対策 わたしたちにできること～

※AMR: Antimicrobial resistance

知っていますか？ 薬剤耐性菌の問題



近年、抗菌薬が効かない薬剤耐性 (AMR) をもつ細菌の増加が世界的に問題になっています。加えて新しい抗菌薬の開発は進んでおらず、薬剤耐性菌による感染症の治療は難しくなっています。



抗菌薬を正しく使うことにより、薬剤耐性菌をつくらない。そして現在使える抗菌薬を温存して長く使えるようにすることが求められています。

国際社会の動向と日本の対応

WHO(世界保健機関)では、2015年5月に「薬剤耐性に関するグローバル・アクション・プラン」が採択され、日本でも2016年4月に、抗菌薬等に対する薬剤耐性 (AMR) の発生を遅らせ、拡大を防ぐことを目的として、今後5年間 (2016～2020年) に取り組むべき対策「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン」が取りまとめられました。

抗菌薬は畜産業など人以外でも使用されていて、動物で発生した薬剤耐性菌が人に伝播することもあります。また、薬剤耐性菌や抗菌薬は河川等の環境からも検出されています。そのため、薬剤耐性 (AMR) 対策は、人や医療だけでなく動物・環境にも目を配った世界規模での取り組み (ワンヘルス・アプローチ) が必要とされています。

あなたにもできる！ AMR対策



1. 抗菌薬について正しい知識を身につけましょう

- ・ 風邪に抗菌薬は効きません。
風邪の原因の大半はウイルスです。
ウイルスによって起こる風邪には、細菌に効果を発揮する抗菌薬は効きません。
- ・ 処方された抗菌薬は医師の指示通りに服用しましょう。
不適切、不十分な飲み方をすると薬剤耐性菌が生まれてしまうことがあります。



2. 基本的な感染対策をしましょう

- ・ 手洗いは日々の生活の中でできるきわめて有効な感染対策です。
- ・ 感染症にはワクチンで予防できるものがあります。

さらに詳しい情報を知りたい方は
AMR臨床リファレンスセンターへ

